

鮮やかな衣装で優雅な舞
久米島ハワイアンフェスティバル2017

久米島ハワイアンフェスティバルが、9月29日にイーブビーチホテル、30日にサイプレスリゾート久米島にて行われました。島内3つの教室を含め、両日で20教室、約215人が出演し久米島の海や夕日をバックに生バンドと共に優雅にフラを披露しました。会場ではハワイアンフードやコナビールが並び、来場者(約800人)は南国の味を楽しみました。両日ともに、最後はみんなで手を取り合って輪を作り、人々の幸せを願う「ハワイ・アロハ」を踊りました。



勇壮な演舞を披露
第8回久米島全島エイサーまつり

9月16日(土)久米島全島エイサーまつりが台風18号の影響で強風の中、会場を仲里野球場からホタルドームに変更して行われました。今年、儀間、宇根、真我里の3地区がそれぞれの持ち味をみせ伝統エイサーを演舞したほか、創作太鼓や民謡も披露され、訪れた観客らを魅了しました。同まつりは、久米島町青年団協議会が、伝統の継承や島の文化・観光の発展、青少年の健全育成などを目的に2年に一度開催しています。



先輩達のアドバイスで大きく羽ばたけ!
久米島高校進路講演会

10月4日(水)久米島高校にて全校生徒約220人を対象に第1回進路講演会が行われました。メディア、福祉、スポーツ、芸能などの各分野から講師を招き、各教室にて、それぞれの職業の経験や進路実現までの過程などを講話。久米島出身の譜久里武さんは「夢を持って習慣を意識することで、人生は大きく変わる。大きな夢を持って充実した日々を過ごし、自分を信じて進んで欲しい」と後輩らに力強くアドバイスしました。(後援:久米島町グッジョブ連携協議会)



五穀豊穣を祈り獅子舞を奉納
兼城獅子舞

旧暦8月15日にあたる10月3日、満月の月明かりのもと、字兼城で獅子舞行事が行われました。五穀豊穣を祈る伝統行事として200年以上の歴史をもつ「兼城獅子舞」は、拝所で奉納した後、集落内を練り歩きました。また、当日は公民館にて「兼城敬老会・十五夜村あしび」が行われ、民俗芸能の「しゅんどう」や子ども会による演舞が披露され、来場者を楽しませました。

